

良識ある保守主義・情報公開

支持政党なし TOKYO 都民代表

吉田つとむ

<編集発行>

支持政党なし TOKYO

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726

yoshidaben@gmail.com



インタビュー好評
若者育成・就業支援

日本の後退と今必要な消費税ゼロ政策

新型コロナ感染拡大で世界の経済成長が一挙に止まり、大半の国家でマイナス成長になりました。日本もその例外ではないのですが、今年に入ると大きくその様相が変わりました。

新型コロナの発生、世界流行の開祖であった中国は、徹底したロックダウンと自家製ワクチンの使用で社会のおさまりをつけ、今年は10%レベルの経済成長を示し、あれだけコロナがまん延したアメリカは、世界に冠たるワクチンをいち早く完成させ、都市部でも元の生活と経済成長を復活させています。



日本はオリンピックを強行すれば、コロナの再発で、経済の成長、復活はますます出遅れるものでしょう。今後、ワクチン接種が進んだとしても、世界の経済成長のピッチにはついていけない出遅れ状態にあり、社会全体の回復には、特定業種への給付金支給から消費税をゼロにする施策転換が必要でしょう。

オリンピックキャンプ地の運営に大問題

オリンピック・パラリンピックの開催自体がどうなるか不明だと思っていますが、出場するオーストラリアのソフトボールチームが事前キャンプに一番乗りで到着したニュースがありました。群馬県太田市に到着したのですが、そうしたチームのメンバーは、ホテルと練習場の移動を制限し、バブル方式(開催場所やキャンプ地を大きな泡で包むように囲い、選手やコーチ・関係者を隔離。外部の人達と接触を完全に遮断する)の方法で規制するとされています。

しかし、それを向かい入れる側の自治体は、外国人選手との交流、おもてなしが目的で、キャンプ地を承諾したものであり、太田市の清水聖義市長(改革派の市長として有名人)が、選手には、ショッピングモールでの買い物の機会ぐらいは設定されてよいのではないかと提案し、政府への働きかけで緩和がバブル崩壊の兆しを見せています。



★「支持政党なし TOKYO」は、支持政党を持たない、持ちたくない人の意見を代弁します。

★「良識ある保守主義」は、既存の社会体制を前提に法治主義のよる秩序を重視し、柔軟かい思考にもとづいて議論をする立場です。

●前町田市議の吉田つとむは3期連続トップ当選し、途中で第35代の議長を務める

若い世代の育成に全力をささげる

支持政党なし TOKYO 都民代表

吉田つとむ (町田市議)



ブログ



個人HP



メールは
左記を讀込
して送信



インターン生募集中
社会見学・体験勉強

現役世代が先行されるべきワクチン接種

企業でコロナワクチン接種を実施するケースが紹介されています。官庁でも窓口業務を担当する職員にワクチン接種を優先しようという姿勢が出てきました。



これまでに行政のコロナワクチン接種の優先順位は、医療機関関係者、高齢者施設の利用者と施設従事者、そして65歳以上の世代とされ、現在進行中です。65歳未満にも、政府は今月中に接種を始めるところをとにかく一か所でも確保しようと躍起になっています。現状は、65歳以上が2回目の接種を終えるのは8月に入るでしょう。もう、IOCの見込みやオリンピック委員会のスケジュールでは、すでにオリパラの真っ最中の期間に予定されています。

翻って、高齢者の方から、「現役世代を優先してワクチン接種をしてほしい」、「高齢者は自宅で待つことができると言われるし、人の生活状況を見ると、私も以前からその就業世代優先の接種に同意するものです。コロナ感染の収束を願っています。

東京都の積立金は残高ゼロで良いのか

昨年度の東京都の財政で、積立金である財政調基金が1兆円近くあったものが、95%ほど減少し、わずかに500億円になるという事例に遭遇しました。コロナ対策としての事業継続で、資金投入を図って企業の存続を図ったためで、一概に否定できるものではありませんが、いずれ、貸出の資金はその返還がどのようになるかが大きな課題になります。現実には、貸し付けを受けた企業の経営が向上せず、その資金が返還されえることなく、焦げ付くこともあります。

重要なことは、今年度の東京都の財政がどうなっていくか、オリンピックを開催した場合、予測されたものより、どれくらい予算が膨らんでいくのか、見極めることが重要だと思います。つまり、当初は何度も強調されたオリンピック開催による経済発展ということがその推進者から述べられることは皆無になりました。それは期待できないという理解に変わりました。当面、東京都が背負うのは、オリンピックに伴うマイナスは計り知れず、それをきちんと監視することが重要な仕事になるでしょう。



◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、多数の体験者が実社会で活躍中。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強のメニューです。

◎昨年の1月から、マスクをつけての活動に切り替えています。